

## ● 緑区役所の主な取組

緑区役所では、令和2年度緑区政運営方針において、「次世代につなぐ みんなにやさしいまち～「ふるさと みどり」」を基本目標とし、その達成に向けた施策として、「安全・安心なまち」、「いきいき暮らせるまち」、「みどりの魅力あふれるまち」の3つの柱を掲げました。第3期みどりのわ・ささえ愛プランについても、区政運営方針に位置づけて進めています。今年度の主な事業の実施状況を紹介いたします。

なお、実施にあたっては新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、取組形態を見直す等工夫をしました。

### 1 安全・安心なまち

#### (1) 災害に強いまちづくり

地域防災拠点情報共有会を9月に開催し、新型コロナウイルス感染症を踏まえて避難所開設・運営のポイントの説明を行いました。共有会においては、地域防災拠点での避難者スペースの間仕切り等の運用について運営委員と意見交換を行いました。

また、近年発生している災害を踏まえ、震災及び風水害の際の避難行動について、広報よこはま6月号にて「保存版 緑区避難行動（安全確保マニュアル）」を配付し区民向けに広く啓発を実施しました。



#### (2) 安全・安心な環境づくり

特殊詐欺防止のための簡易型自動録音機（※）を緑警察署及び区役所窓口にて高齢者向けに配布しました。

（※）機器を電話機に設置すると、電話を受けたとき、警告音声を再生し、電話をかけた側の会話内容を録音します。

#### (3) 暮らしの衛生の推進

災害時のペット対策として、同行避難や日頃からの備えについて、飼い主向けペット防災啓発講演会（7月）の開催や地域防災拠点運営訓練での啓発を行いました。引き続き、災害時のペット対策の重要性を伝える機会を設けていきます。

### 2 いきいき暮らせるまち

#### (1) 第3期「みどりのわ・ささえ愛プラン」の推進

今年度は第3期プランの最終年度であるとともに、第4期プランの策定を進める予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、多くの地区別計画推進策定委員会やプラン推進策定委員会の開催を見合わせたため、引き続き令和3年度にかけて第4期プランの策定を進める予定です。

#### (2) 妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援

地域全体で子育てを見守り支える環境づくりを進めるため、過年度から引き続き、関係機関・団体とのネットワークの活性化を図る「みどり子育て支援連絡会」（オンライン開催）、児童虐待防止に向けた要保護児童対策地域協議会の実務者会議（1回）を開催しました。また母子保健コーディネーターを新たに配置し妊娠中から産後の支援を強化しました。

#### (3) 地域における青少年の育成

子ども達がまちづくりに携わる楽しさを知るきっかけを作るため、子ども達が自らまちをつくり・運営するイベント Mini Mini Midori ですが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、イベント開催を見合わせたため、次年度のイベント開催に向けた「子どものまちPR作品」を Zoom を活用しながら制作しました。

#### (4) 高齢者・障害者施策の推進

認知症及び障害者理解の普及啓発の取組として、広報よこはま9月号で「認知症」、同2月号で「障害者理解」をテーマとした特集記事を掲載しました。9月号では、認知症の症状や相談機関・認知症サポーターの紹介等、2月号では、地域で活躍する障害のある人の活動や地域の事業所の紹介等を取り上げました。

### (5) 外国人との共生

横浜市では、市内在住の外国人のための生活情報提供、相談を多言語で実施するとともに、日本語教室の開催、通訳ボランティアの派遣、日本人との交流活動などを行うため、国際交流ラウンジを設置しています。緑区では令和3年3月7日に、NPO 法人の運営による「みどり国際交流ラウンジ」を中山駅北口に開設しました。

### (6) 生涯にわたる健康づくりの推進

健康寿命延伸を目指した取組として、思いやり健康づくりの日の取組として健康チェックなどを7月に実施しました。

また、「食」を通じた健康づくりを推進するために、「食べることと噛むことを考えよう」等をテーマにした食育の日キャンペーンを8・10・12月に実施しました。キャンペーン当日には、朝食の大切さに関する啓発パネルを展示したほか、災害時でもバランスよく食べるための食の備蓄の重要性を周知するため、リーフレット及び給水バッグを配付しました。

### (7) 暮らしのなかのセーフティネット

生活困窮者の自立に向けた支援として、支援を必要とする人の早期把握や、自立した生活を支えるためのネットワーク構築を目指しています。地域ケアプラザ等と協働し、9月から2月にかけて計5回「家計に関する講座」を区民向けに開催しました。

また、寄り添い型学習支援事業を継続実施するとともに、令和3年2月から寄り添い型生活支援事業を開始しました。

## 3 みどりの魅力あふれるまち

### (1) みどりの魅力を活かした地域活性化

区の魅力再発見のため、緑区ガイドボランティアの会にガイドを依頼し、緑区遺産ガイドウォーキング（11月、12月）を実施するとともに、緑区ならではの地産地消の魅力を発信するため、「夏野菜と出会うトウモロコシ収穫体験（7月）、「親子で菊芋収穫体験」（11月）等を実施しました。

また、視覚的・直観的なアートによる区の魅力発信のため、「山下学舎文化祭」を開催しました。昭和17年に建築された木造校舎を活用した山下地域交流センターを舞台に、資料室に眠っていた黒板や古い農機具などを活用したアート作品を制作・展示し、作品の制作風景や映像作品などを特設WEBページで配信しました。



### (2) 環境行動の推進

国立研究開発法人国立環境研究所の五箇公一氏を講師に招いて「地球温暖化問題とわたしたちの生活にできること」と題した生物多様性講演会（2月）をZoomにて開催しました。また、講演会で緑区内にある5つの市民の森・ふれあいの樹林及び愛護会の活動を紹介する映像を放映しました。

### (3) 地域の現状を踏まえたまちづくり

住民が主体的に取り組むまちづくり活動のうち、山下地区の安全・安心まちづくりプランの改定を支援しました。改定にあたっては、地区におけるまちづくり委員会で議論するとともに住民からの意見募集により合意形成を図り、12月に市から認定を受けました。

### (4) 地域力の推進と市民活動の支援

今年度もみどり「ひと・まち」スクールを開講し、10名の受講生が地域活動について学び、それぞれの夢プランを発表しました。人数制限によって会場に来られない修了生にはWeb会議システム（Zoom）を用いた視聴や双方向でコミュニケーションを図る工夫を行いました。

また、区内の地域施設職員を対象としたWeb会議システム（Zoom）操作に関する研修を実施し、コロナ禍での市民活動を支援しました。